

障がい者へのスポーツ 指導のあい方

障がい者におけるスポーツ・運動 の必要性と取り組み

知的発達障害者スポーツを中心に

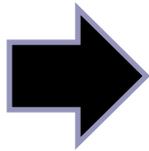
はじめまして

はな おか やす ひこ

花岡安彦です。

- 大阪に住んでいます。
- L'Collegeおおさかに勤務しています。
- 福祉事業型（自立訓練）の知的障がい者が通う学校形式の施設です。
- スペシャルオリンピックス日本の活動にも協力しています。（フロアホッケー競技）
- 今日は、よろしくお願いします。

● 本日の講義の流れ ●



障がいとは？・・・その理解

スポーツ・運動への参加と効果

接し方・受け止め方

まとめ

“障がい”って何ですか？

人として社会で生きていく上での

「生きにくさ」

その人の

「特徴」 であり **「個性」**

“障がい”に対する考え方の変遷

医療モデル



自立生活(社会)モデル

ADL (Activities of Daily Living)
※日常生活活動



QOL (Quality Of Life)
※生活の質

障害者基本法の改正

障害者自立支援法 ⇒ 障害者総合支援法 (平成25年)

＊障がい者自身が、
「自己選択」「自己決定」
する力をつけることを目指すもの

施設～地域 ・ 保護主義～人権尊重

“障がい”に対する考え方の変遷

障害者差別解消法

(平成28年から施行)

1. 障害を理由に差別的取扱いや権利侵害をしてはいけない。
2. 社会的障壁を取り除くための合理的な配慮をすること。(障がい特性に応じた対応と環境の提供)
3. 国は差別や権利侵害を防止するための啓発や知識を広めるための取組を行わなければならない。

知的発達障がいの特徴とは

- 学習することがゆっくりで、学習可能な範囲に制限がある
- 社会生活で、理解と支援が必要な状態
- 対人関係においてコミュニケーションが苦手
- 運動・感覚面にも遅れやひずみ
- 手先が不器用、感覚の異常
- 刺激に対して感覚過敏

知的発達障がいには(例として)

○染色体異常・知的障がいを伴う自閉症 (先天性疾患)

- ・ダウン症候群(21番染色体が1本過剰で3本)

○脳性まひ・てんかん(脳の器質的な障害)

○広汎性発達障害(PDD)

「高機能自閉症」

「アスペルガー症候群」

「学習障害」(LD)

「注意欠如多動性症候群」(ADHD)

自閉症の特徴

- 「見えない」障がい ・ 発達の偏り
 - ことば
 - ルール
 - 人の気持ち
- 見通しが持てない
 - 想像することが難しい

＊知的障がいを伴う自閉症

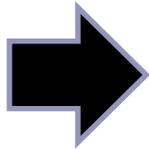
☞ 発達の遅れと偏り

自閉症の特徴

- **コミュニケーション障害**
- **反響言語**
- **常同反復的行動（奇妙な繰り返し行動）、儀式的で固執した行動。**
- **こだわり（もの、順序、位置など）が強く、習慣、環境などが変わるのが苦手（同一性保持）。**
- **サバン症候群（記憶・計算・芸術）**

● 本日の講義の流れ ●

障がいとは？・・・その理解



スポーツ・運動への参加と効果

接し方・受け止め方

まとめ

スポーツ・運動への参加

- **志向性・目的**

- **競技**

- **チャンピオンシップ**

- **フレンドリーシップ**

- **余暇活動～楽しみ**

スポーツ・運動の効果

- **リハビリ効果**

- 社会復帰・更生・療育

- **リフレッシュ効果**

- 元気回復・気分爽やか

- **リジェネレーション効果**

- 再生（生まれ変わる）・復活

スポーツ・運動の効果

- **健康、体力の維持・増進**
- **健康で豊かな生活をおくることができる**
- **コミュニケーション・経験知が広がる**
- **ルールやきまりを理解し守ること、目標に挑戦することをとおして、社会性・自立(律)心を養う**
- **周りの多くの人々が、障がいのある人のことを理解しみんなが生活しやすい場や地域が広がる**

● 本日の講義の流れ ●

障がいとは？・・・その理解

スポーツ・運動への参加と効果

➡ 接し方・受け止め方

まとめ

具体的には、どう接しましょうか？

- ① あいさつから始めよう
- ② よりそってみましょう
- ③ いろいろなことばかけを！
- ④ 選択の機会を・・・
- ⑤ 手がかりの示し方、支援の仕方
- ⑥ 自傷、他傷行動について
- ⑦ 多動について
- ⑧ 発作への対応

指導上の留意点

- **障がいがあるということは**
 - ＊遊びの経験が不足している～馴染めない
 - ＊恐怖心・挫折感
 - ＊運動能力の開発・向上が阻害されている
- **指導の方法として**
 - ＊ひとつひとつの動きをていねいに・動きづくり
 - ＊人的なサポートを忘れずに
 - ＊取り組みやすくプログラムの工夫を(自由度大、多様な)
 - ＊適宜休憩を
- **健康面での配慮・運動規制について**

指導上の留意点

- **指示の理解について** 目で見てわかることの理解は得意!
 - * 表現方法(ことば・声の抑揚・表情・ボディランゲージ・絵・カード・目標物・音ほか)
 - * 抽象的(曖昧)な表現は苦手
 - ×「もう少し」「きちんと」「そこ」「むこう」・・・
 - * 楽しさ・おもしろさを
- **意欲・やる気の引き出し方**
 - * 褒め方・注意や制止の方法
 - * 評価、課題・目標を明確に!
 - 見通しを最初に示す! 『始め』と『終わり』が解り難い
 - * 自主性そして達成感を

心がけてください！

- **手をかけすぎず、**

目と心は十分に！

★ 気付いていることを知らせる

- **いい見本であって下さい！**

★ 模倣が上手です

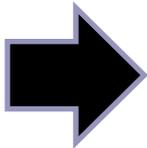
● 本日の講義の流れ ●

障がいとは？・・・その理解

スポーツ・運動への参加と効果

接し方・受け止め方

まとめ



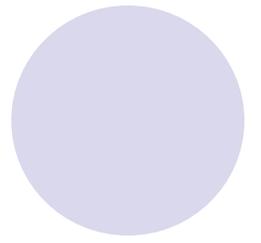
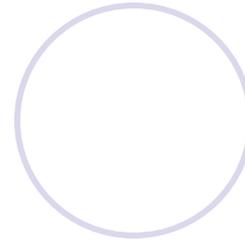
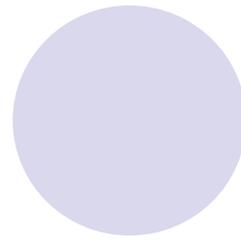
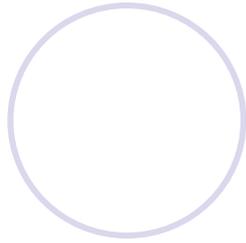
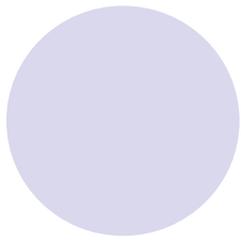
共に生きる（共生社会）

- 互いの存在を認め合う
- 少しの気づかいと意識の持ち方
- 個性・特性を認め、理解し受け入れる

共に生きる（共生社会）

みんなちがって、

みんないい！！



ありがとう

ございました